

野田市の農産物をブランド化へ

「もみ殻牛ふん堆肥」や

「玄米黒酢」使用の農産物がなく市場へ

「ゆめあぐり野田」での販売も

市では、環境に配慮したふるさと作りを進める中、家庭から出る剪定枝や落ち葉などを堆肥化し再利用するため、平成12年に堆肥センターを設立。堆肥を市内の農家に活用していただくとともに、今年から「牛ふん」や「もみ殻」と堆肥センターの「堆肥」をブレンドした「もみ殻牛ふん堆肥」を農作物に使っていただいています。また、水稻栽培でも農薬に替わり「玄米黒酢」を使用し、減農薬化を進めています。これらの安全・安心な農産物がまもなく収穫され、市場で販売されます。

市では、出来る限り、農薬や化学肥料を使わない、環境保全型農業を支援、推進しています。平成12年から、剪定枝や草、落ち葉などの各家庭で、「ごみ」と処分していたものを、「野田市堆肥センター」で堆肥化し、農家に使っていただいています。

6月6・7日

「ゆめあぐり野田」で

開設一周年記念イベント

昨年6月に、船形地区にオープンした農産物直売所「ゆめあぐり野田」では、皆さんに安全・安心な農産物を購入していただくよう、減農薬・減化学肥料栽培された農産物販売を目指し、商品のほとんどに、生産者や産地も表示して販売しています。

そこで、開設一周年をむかえる、6月6日(土)、7日(日)の両日(9時30分～18時30分)、「枝豆」割引販売(一日限定200袋)や福引、模擬店など、記念イベントを、実施いたします。また、ご購入いただいた商品は、宅配便(有料)で発送もできます。



朝どりトマトなど新鮮な野菜が

なお、営業は、年末年始を除く毎日9時30分～18時30分です。

【問合せ】農政課

■農産物直売所「ゆめあぐり野田」案内図



所在地	船形280番地の1
電話番号	7120-8821
営業日	年末年始を除く毎日
営業時間	9時30分～18時30分
その他	駐車場25台、障害者用トイレ

19年からは、農家で処分していた「もみ殻」と、酪農家で、処理に手間がかかっていた「牛ふん」、さらに「剪定枝等からの堆肥」を混合した「もみ殻牛ふん堆肥」づくりにも取り組み、今春からエコファーマーとして認定された農家が購入し、使っていただいています。

その結果、農薬の使用量を減らしても、収穫量や品質に、影響するほど、病害虫の発生がなかったことから、今年度から、段階的に、木野崎、船形、目吹の水稻栽培で、使用していく予定です。

農産物の出荷もいよいよ

黒酢を使った水稻栽培も

また、水稻栽培も、減農薬農法を進め、18年からは、ヘリコプターによる水田への空中散布を取りやめ、農薬に替わるものとして、「玄米黒酢」の殺菌効果などに着目し、昨年度から、試験散布を行ってきました。

「もみ殻牛ふん堆肥」で栽培された農産物は、7月から一般の市場へ流通しますが、この堆肥を使ってつくられた「枝豆」は7月から、「玄米黒酢」を使った「特別栽培米」は、9月ごろに、「ゆめあぐり野田」でも、販売される予定です。

【問合せ】農政課